

小学校

s6-11

文字を用いた式

6学年

【ねらい】

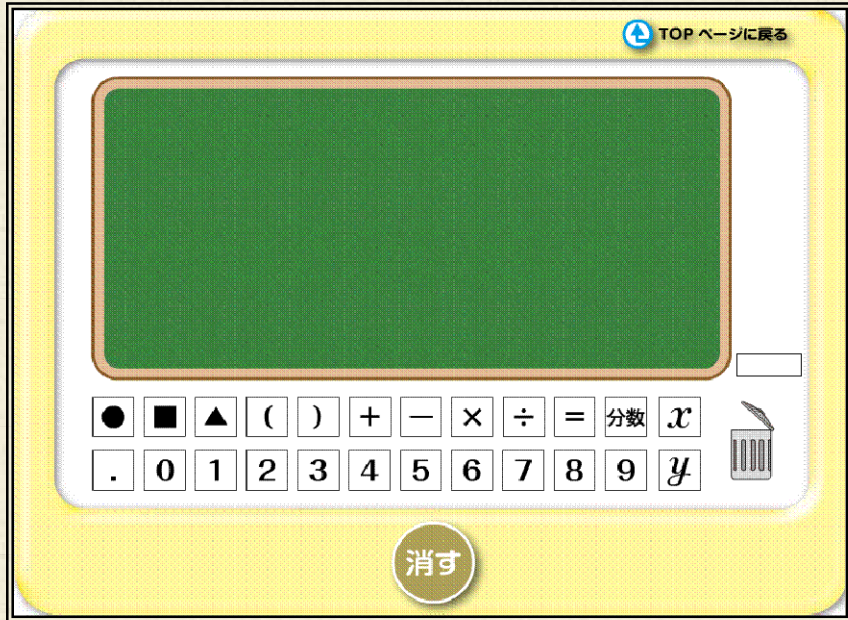
数量の関係を表す文字を用いた式について理解する。

【特徴】

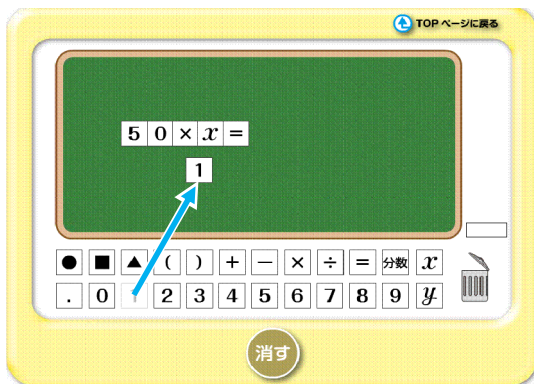
- ◇ 後から置いたカードが、順次上に重ねられます。
- ◇ ●や▲を使うことで変数を文字に置き換える操作が理解できます。

【関連する単元】

- ◇ 中学1年「文字と式」



【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



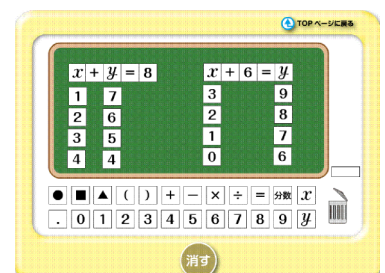
文字式への代入操作を視覚的に理解、確認することができます

- ◇ 1をドラッグして変数の上に重ねてからドロップすると、1が変数の上に乗るので、「代入する」という操作を視覚的に確認することができます。(左図)
- ◇ 変数を●や▲で表したり、右のように■を求める問題の例示に有効です。(右図)

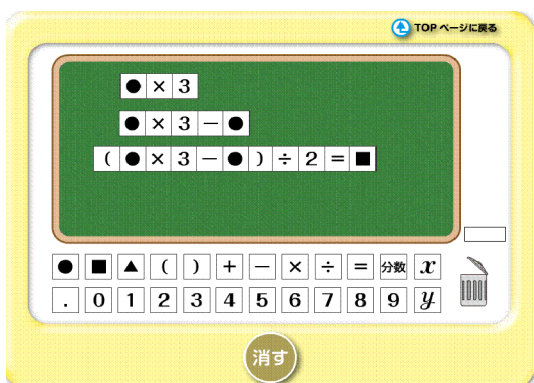


和を構成する2数の関係を、文字を使って表すことができます

- ◇ 和が8になる2数(1けたの整数)の組み合わせをすべて考えさせます。(左図は例)
- ◇ 数の範囲を広げると、それらの組み合わせが無数にあることが確認できます。
- ◇ ●や▲を文字で置き換えられることを確認します。(右図は例)

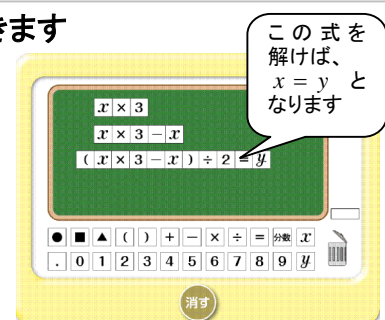


※二元一次方程式の解の組は無数にあります。(中2)



数当てゲームのカラクリを理解することができます

- ◇ 数当てゲームのカラクリを考えます。
- ①ある整数を考えます。②その数を3倍します。
- ③最初の数を引きます。④2で割ります。→すると、元の数になります。
- ◇ 数当ての手順通りに式をつくります。(左図)
- ◇ 文字を使って表現します。(右図)



※中学「c1-7 文字と式」や「c2-1 式の計算」も発展的に活用できます。